

所内トピックス

公開セミナー

「外来植物のリスクを調べてその蔓延を防止する」報告

生物環境安全部植生研究グループ化学生態ユニット 藤井 義晴

外来生物による被害を防止するために、平成 17 年 6 月に「外来生物被害防止法」が施行された。農業環境技術研究所では、この法律の円滑な実施に貢献するために、平成 17 年 7 月から、文部科学省科学技術振興調整費・重要問題解決型プロジェクト「外来生物のリスク評価と蔓延防止策」という大型の競争的資金によるプロジェクトを実施している。この研究のアウトリーチ活動として、第 1 回公開セミナーを平成 17 年 12 月 18 日につくば国際会議場（エポカルつくば）において開催し、第 2 回公開セミナーを平成 18 年 3 月 5 日に倉敷市において開催した。このセミナーは、農業環境技術研究所が主催し、一般市民の方を対象に開催したもので、第 1 回につくば市の公開セミナーには 128 名の、第 2 回の倉敷の公開セミナーには 229 名もの参加があり、熱心な討議が行われた。

つくば市で開催された第 1 回公開セミナーでは、当研究所から 6 課題の発表と畜産草地研究所から 2 課題の発表を行い、最後に、畜産草地研究所の黒川俊二氏の司会で、「日本の生態系を守るために今できることは？」と題した意見交換会を行った。この会では、外来植物問題に関心の深い緑化関係の方、行政の方、NGOの方などから、外来植物の功罪について活発な意見交換があった。

第 2 回の倉敷での公開セミナーでも同じ課題の発表を行ったが、それらに加えて、民間で外来植物に詳しい近畿植物同好会の植村修二氏から、「新しくわが国に侵入してきた外来植物を見つける - わが国に入ってきた外来植物の発見と栽培の記録 - 」の発表と、本研究プロジェクトメンバーである岡山大学の榎本敬氏から、「外来植物とその種子のデータベースを作成する」

と題した発表があり、関心を集めた。会場定員は 200 名であったが、これを上回る参加者があり補助椅子で対応した。地元新聞社や NHK ニュースでもこのセミナーが取り上げられ、世間の関心が高いことが分かった。

いずれのセミナーにも、外来植物と関係の深い緑化関係の研究者や農家の参加があり、この問題の重要性を再認識した。これらの 2 回のセミナーで皆様から頂いたご意見は、今後の私たちの研究計画の糧として活かして行きたいと考えている。また平成 18 年度は年 3 回の公開セミナー（8 月 5 日：岡山大学 50 周年記念館、10 月 15 日福岡国際会議場、12 月 10 日：東京・秋葉原ダイビル）を開催して研究成果を順次公開していく予定である。

なお、本研究プロジェクトの紹介やこの公開セミナーの詳細と質疑応答内容の一部は、下記のウェブサイト順次紹介していく予定なので、ご参照下さい。

http://www.niaes.affrc.go.jp/project/plant_alien/index.html



第 2 回公開セミナー（倉敷）の様子